



自ら輝きつつ
仲間を照らし
未来を創る
「太陽の子」

きらめく 簗木

令和6年3月4日 文責 校長 福田 啓子



閉校記念行事への御参加、ありがとうございました。(3月3日)

閉校する母校をバルーンから見せたい…。その思いで始まった閉校記念行事でした。横道育友会長様、田中様はじめ、育友会会員の皆様の御協力で、3日に開催予定というところまでこぎつけることができました。しかし、当日は風が吹き続けたため、係留体験を断念せざるを得ませんでした。強風でなくても、気球にとって風が吹くことは安定した飛行を妨げるものになるということを目の当たりにしました。気球チームの皆さんは、子供たちのために一生懸命係留に挑戦してくださいました。搭乗体験はできませんでしたが、気球が膨らんで立ち上がるどころや浮くところを至近距離で見られたこと、気球をバックに記念写真を撮ったこと、バーナー体験をしたこと、取材がたくさん来たこと、温かいぜんざいをいただいたことなど、様々な体験ができました。子供や保護者、兄弟、卒業生が閉校を目前に控えた簗木小学校に集まって、皆で気球が膨らむ様子を見ながら搭乗を今か今かと待ったことは、今後簗木小の思い出を語る際の話題になることでしょう。

たくさんの皆様にお集まりいただいて閉校記念行事を行うことができたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



閉校に向けて「有終の美を飾る」(3月1日全校集会)

土日を除くと6年生が登校する日は10日を切りました。在校生が6年生と過ごすことができるのもあとわずかです。それに加え、今年度は簗木小で過ごすのもあと2週間余りとなりました。子供たちには「有終の美を飾る」という言葉を伝え、そのための具体的な行動目標を伝えました。

- ① 通学路(地域)を歩いて登校するのもあとわずかだから、

できるだけ歩いて登校しよう、地域の方にあいさつしよう

- ② 4月からのいろいろな変化に対応できるように、

心構えをつくろう(学習について、人や物との関わり方について、行事について)

御家庭でも、同様のことをお声かけいただければと思います。

今月の全校集会では、文芸・絵画・立体作品・スポーツ等、たくさんの表彰を行いました。年間を通し「自学」を頑張った6名の子供の「自学賞」表彰も行いました。色々な分野で活躍する簗木っ子の姿を紹介することができました。

